

令和6年度 泉大津市立東陽中学校グランドデザイン

東陽中学校区小中一貫教育校 重点教育目標：「誰とでもつながる力」の育成

- リーダーシップ・フォロワーシップが発揮できる（自立・自律）
- 対話力・共感性が備わっている（コミュニケーション）
- 人と人とのつながりの中で課題を解決する力がついている（協働）

「令和6年度小中一貫教育校の重点取組み」

【体育・総合】・・・[体育]身体を動かす楽しさを育みながら、体力・表現力・集団行動力（主体性・課題解決能力）の育成

[総合]協働的な取組み、探究活動などを取り入れ、対話力・表現力・主体性・課題解決能力の育成

【なかまづくり】・・・児童生徒の自己効力感が高まる、リーダー育成や子どもどうしのつながりを意識した委員会活動や班活動等の取組み実施

◇◇東陽中学校教育目標◇◇

「なかまとともに、額に汗、脳に汗かく」生徒を育成する

◎東陽中学校今年度の重点目標◎

インプット・アウトプットを的確に行い、
自分の考え・想いをしっかり持つことができる人に！

・・・目標達成のための具体的な取組み、数値目標・・・

- | | | |
|--|------------------------------------|-----------|
| ○リーディングスキル・情報活用能力を高める取組みやプレゼンの実践を積極的に進める | [自分のことが好きである | 75%(70%)] |
| ○(全校での班活動)「自分の想いを出し、なかまの想いを受け止められる班活動」をめざす | [学校へ行くのが楽しみである | 86%(83%)] |
| ○生徒全員で企画・運営・参加する「生徒主体の学校づくり」を進める | [生徒会活動や委員会活動などに関心を持ち積極的に参加 | 63%(57%)] |
| ○食育を充実し、生徒の食・からだづくりへの関心をさらに高める | [給食を好き嫌いなく食べている | 73%(70%)] |
| ○地域人材を活用した教育活動の拡充をめざす | [地域人材の活用によって、教育活動の充実を図ることができている | 50%(43%)] |
| ○部活動改革を進め、持続可能な部活動の体制づくりをさらに進める | [令和7年度から、拠点校方式・合同部活動等実施ができるめどをつける] | |